



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school>



令和6年6月28日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

子供たちの成長と安心な居場所づくり

校長 浅倉 宏之

1学期のゴールが見えてきました。3か月前とは全く違う表情をして元気に学校生活を送ってもらえているのかなと、安心してしています。それぞれが学校の中に自分の居場所を見つけるのは、簡単なようでいて難しいものです。社会に出ればそれこそ多種多様な人々と関わっていかなければいけません。小学校もその縮図として、子供が社会性を学ぶ初期段階としての役割があります。嫌なことなどなく順風満帆に過ごせればいいですが、なかなかそうもいきません。最近よく聞く「多様性」という言葉が表すように、世の中には様々な人がいて、その人たちと意見や思いが合おうが合うまいが、折り合いをつけていかなければいけない場面がどうしても出てきます。社会をうまく生きていく処世術のようなもの、絶妙なバランス感覚を身に付けていってほしいなと思っています。

6月は「ふれあい（いじめ防止強化）月間」でした。全校児童にアンケートを実施しました。子供たちが安心してすごせる学校であるために、いじめを絶対に許さないという姿勢を続けています。周りの人を大切にできる人は自分を大切にできる人です。自分を大切にできる人は、自分が誰かから愛されていると知っている人です。誰かから愛されていると知っている人は自分を愛せる人になります。自分を愛せる人は周りの誰かを愛し、大切にすることができる人になります。周りから大切にされていると分かっている人は、周りの人を大切にします。このようないいスパイラルが続くように、日頃から子供たちが「大切な友達に会うことができる」「頼れる大人がいる」と思える学校であるように、教職員一同日々心を砕いています。今年度の本校教育活動のスローガンの『友達大好き』『先生大好き』にあたるどころです。

子供たちは成長する段階で様々な困難に出会い、立ち止まり、一歩下がり、なかなか前に進めない時もあると思います。そんな大変な目に遭わないように、先回りしたり、がっちり囲んだりして、つらい思いを一切させないように守ってやることもできるかもしれませんが、つらい思いを一度もせず成長して大人になって社会に出て大丈夫かと、心配にもなります。いずれにしろ、どんな場合でも私たち大人が子供に伝えていかなければいけないのは、「あなたは大切な存在ですよ。」とか「あなたのことを愛していますよ。」というようなメッセージだと思っています。ご家族はもちろんそういう気持ちを常にもち、接していると思いますが、それでも子育ては思い通りにいかないときの方が多いのではないのでしょうか。私もそうでしたが、息子たちに思わず心にもないことを言って、心を傷つけてしまったこともあったと思います。いつかは分かってもらえると勝手に思っていますが、うまく気持ちが通じ合わなくなる時期があります。そんな中でも、子供たちに「あなたが大切」を伝えているつもりです。子供たちの成育環境において、そういうメッセージが出せる大人は一人でも多い方がいいに決まっています。学校においては、私たち教職員が常にその一人になりたいと思っています。

長い夏休みが控えています。お家で過ごす時間がぐっと増えますが、生活のリズムなどに御配慮いただき、元気に2学期が迎えられるよう、よろしく願いいたします。残り15日程度ですが、学校でもしっかりとまとめをし、「また戻ってきたい学校」の1学期の締めくくりを頑張りたいと思います。